

イノベーションマネジメント・政策プログラム（Innovation Management and Policy Program: IMPP）は、経営学や経済学を中心とする社会科学の知識を身につけながら、①イノベーションのマネジメントまたは、イノベーションを促す政策形成や制度設計に関連するテーマで独自の研究論文を仕上げ、学術的なフロンティアを開拓するとともに、②民間組織におけるイノベーションのマネジメントや公的機関における科学技術イノベーション政策の形成にたいして適切かつ重要な影響力を持ちうる研究人材を養成することを目的とした、博士レベルのサーティフィケートプログラムである。本プログラムは、日本および国際社会がイノベーションを生み出す能力を強化もしくは向上させる上での学術的基盤を担う人材の育成を行う、教育（教員からの学術的知識の習得）と研究（教員との研究の実施）が一体化しており、修了生には、一橋大学長と一橋大学大学院商学研究科長の連名で修了証明書が授与される。

### 育成する人材像

○科学技術イノベーション・システムに関する研究を担う研究者  
\*主として、一橋大学博士後期課程の学生を想定。( )は、商学研究科の学生

平成25年度実績	4名(2名)
平成26年度実績	3名(1名)
平成27年度実績	3名(2名)
平成28年度実績	2名(1名)

○平成28年度現在の博士後期課程学生  
商学研究科 5名  
国際企業戦略科 3名  
経済学研究科 2名  
社会学研究科 1名

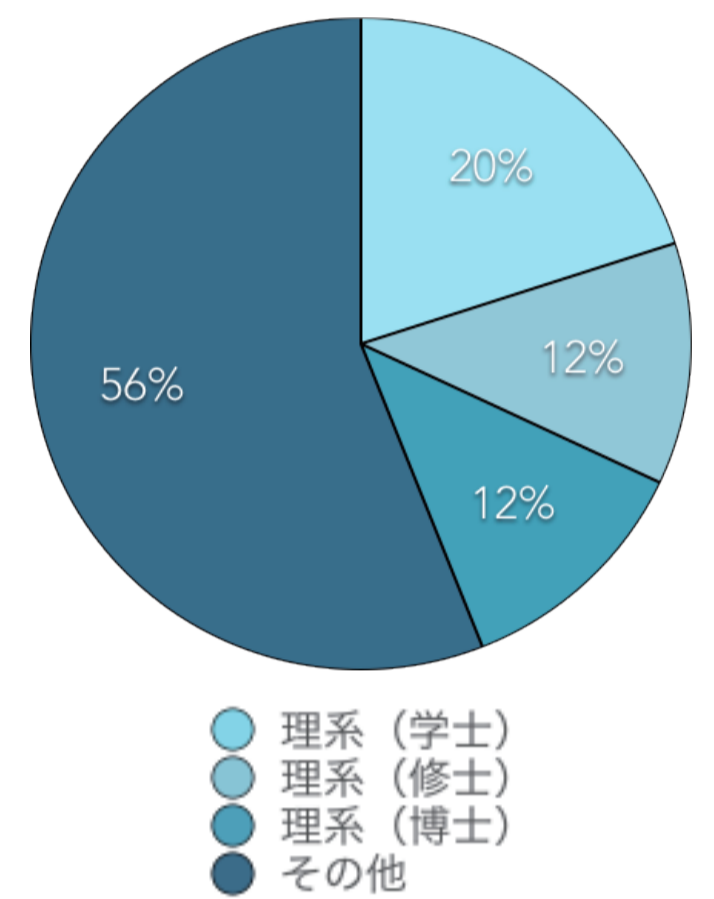
\*平成25年度入学の商学研究科の学生は、留学と就職に伴い、除籍

○公的機関、企業、シンクタンク等の研究開発マネジメントを担う高度な人材  
\*主として、社会人学生を想定。( )内は、本学の博士後期課程学生

平成25年度実績	2名(2名)
平成26年度実績	6名(1名)
平成27年度実績	5名(0名)
平成28年度実績	5名(1名)

○平成28年度現在の社会人学生  
大手企業のマネージャークラス 7名  
コンサルタント 4名  
官庁経験者 2名  
その他 4名

【理系出身学生の割合】



このほか、IMPPの設置科目は全て、大学院商学研究科の正規の科目として登録されているため、一橋大学の大学院生全員に開放されており、IMPPに所属していない大学院生が講義単位で参加している。平成28年度冬学期までに、延べ50人が受講している。また、平成25年度から26年度末までの間に、イノベーション研究センターでは、11名のポスドクを特任講師・助手として雇用しており、彼らは直接もしくは間接的にIMPPの活動に関与してきた。IMPPの雇用3名、IIRの雇用が2名、残り6名はJSTのプロジェクト2件で雇用し、全員が「イノベーションリサーチセミナー」で発表を行い、教育研究の連携を実現

### 入学から修了までの流れ

#### 1年次 - 講義の受講 (単位取得)

- [必修科目]
- イノベーションと経営・経済・政策 (夏学期水曜日隔週)
  - イノベーション研究方法論 (夏学期水曜日隔週)
  - 先端科学技術とイノベーション (冬学期水曜日隔週)
  - イノベーションリサーチセミナーI/II (夏冬学期第4土曜日)
- [選択必修科目]
- イノベーションマネジメント (冬学期火曜日1限)
  - イノベーションの経済分析 (冬学期金曜日1限)
  - イノベーションと政策・制度 (冬学期月曜日5限)

※選択必修科目のうち、「イノベーションと政策・制度」は、社会人学生などの利便性を考慮し、国立キャンパスと千代田キャンパスとのテレビ会議システムを用いた授業を実施しています。

#### 2年次 - 論文2本の提出

#### サーティフィケートの授与

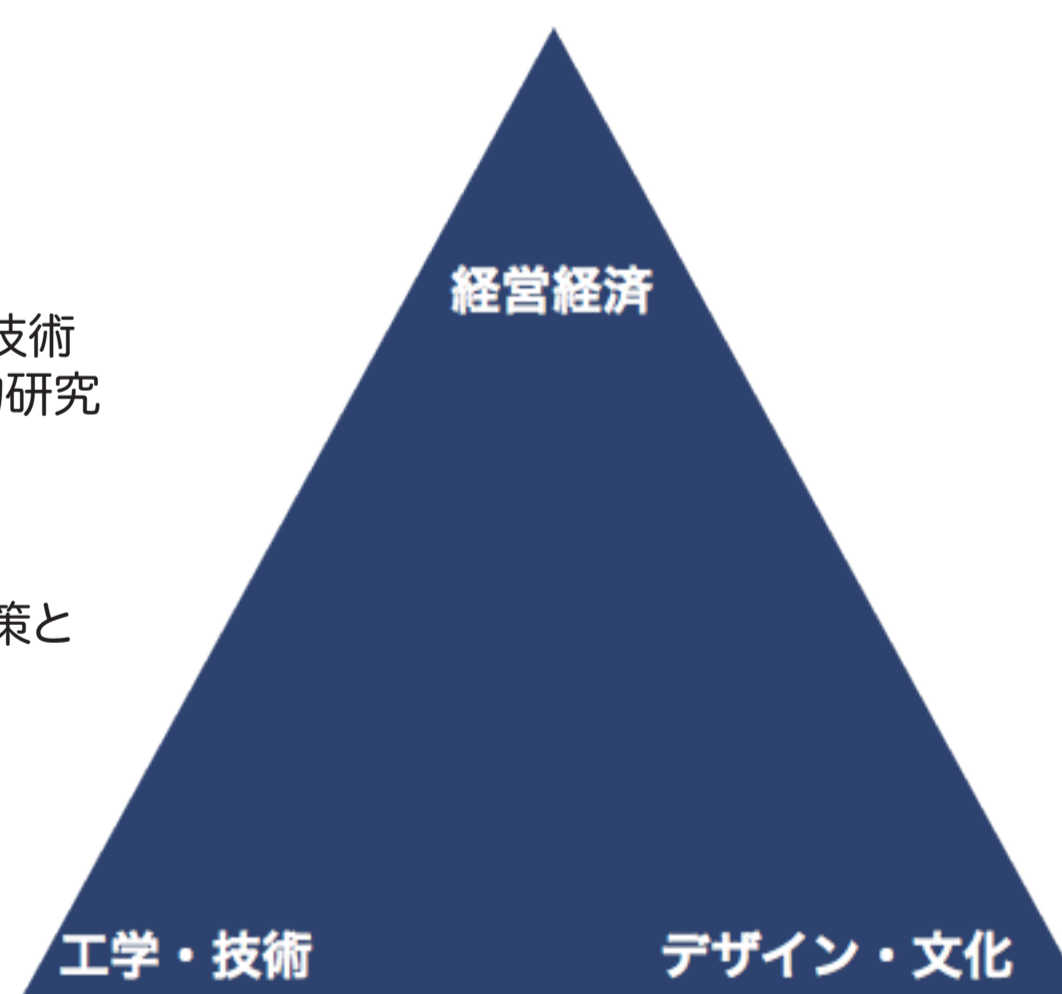
### 理科系との接点の拡充

- 理科系出身受講者の拡充
- 理科系出身教員の関与
- 他大学理科系教員による講義
- 企業の技術者／研究者による講義

### ▲教育-----研究▼

### 人材育成プログラムの実施内容

- [1] 経営学、経済学等の社会科学のディシプリンを基礎とし、現実の科学技術イノベーション政策における政策形成への実践も視野に入れた基盤的研究
- [2] 基盤的研究と一体となった研究人材および高度専門人材の育成
- [3] 政府、公的な調査研究機関、企業等との連携をさらに強化して行う政策と企業経営に関する教育研究



#### 【主な基盤的研究のテーマ】

- 自動車市場におけるプロダクトイノベーション
- 日本企業のイノベーションの国際展開についての研究
- サイエンス型産業のスピナウトとベンチャーキャピタルの研究
- 再生可能エネルギーの普及と産業発展に関する研究
- 先端科学技術とイノベーションに関する事例研究
- イノベーション力の高い国の
- イノベーション・システム
- 標準化とデザインに関する研究
- イノベーショントライアングルの有効性についての研究

### 2016年開催の主な行事



IIR サマースクール 2016



国際学会での発表  
(IAMOT, PICMET, APIC など)



国内学会での発表  
(組織学会、研究・イノベーション学会など)



SciREX サマーキャンプ 2016  
宮城県松島町にて開催